

東北地区「学びあい、支えあい」地域活性化フォーラム 兼「ふれあい学習ネットワーク」

去る2月7日(土)、那須塩原市三島ホールにおいて、「子どもの居場所」をテーマに、フォーラム兼ネットワークが行われました。前半は寸劇「子どもの居場所はどこ」、後半はワールドカフェが開催されました。寸劇では、那須地区ふれあい学習推進委員の方などが、小学校のスポーツ少年団活動の終了時に、子どもを迎えに来た保護者の会話を再現し、放課後や土曜・日曜の子どもたちの過ごし方について問題を提起しました。家庭や地域の課題を和やかな雰囲気の中で演じ、後半のワールドカフェにつながる内容となりました。

また、ワールドカフェでは寸劇で問題提起されたものを基に、各会場で約2時間の熱心な話し合いが行われました。詳しくは、「アンケート結果」及び「ワールドカフェのまとめ」を御覧ください。



寸劇の様子

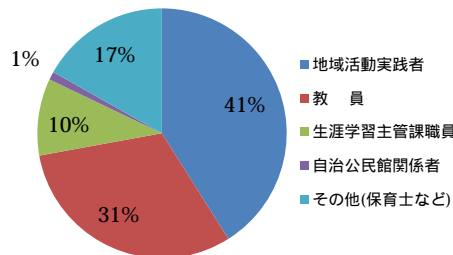


ワールドカフェの様子

ワールドカフェとは「知識や知恵は、機能的な会議の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

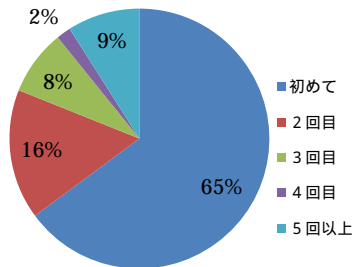
参加者の内訳

参加者の内訳を見ると、地域活動実践者(P T A役員、子ども会育成会役員、家庭教育士コーディネーター、ボランティア等)が41%と一番多く、教員が31%となっており、全体の7割を占めている。今年は地元の中学生18名の参加があった。



参加回数

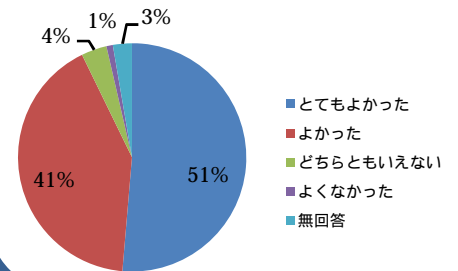
初めての参加者が65%と一番多く、2回目(16%)、3回目(8%)と参加回数が増すごとに参加者が少なくなっているが、5回目以上となると少し増加している。



アンケート結果から

参加者の満足度

下のグラフのとおり、とてもよかった(51%)・よかった(41%)の2つを合わせると、92%の高い満足度を示している。



◆◆ワールドカフェ◆◆

(各会場で発表された意見やアンケートより主なものを掲載)

テーマ：子どもの居場所を確保するために、家庭や地域は何をする必要があるあるでしょうか。また、どのようなことならできる(できそう)でしょうか？

家庭や地域でできる(できそうな)こと

- ・地域や人とかがわることに勇気を持ち、子どもと大人の居場所を一緒に作っていくこと。
- ・P T Aを通して親同士の、また公民館活動を通して地域の人々との交流を深めていくこと。
- ・自分から積極的にコミュニケーションをとり、地域とのつながりを広めていくこと。
- ・家族のあり方を見直し、地域(育成会)活動や社会に貢献していくこと。
- ・学校の役割を再確認したので、地域をつなげられるような場所にしていくこと。
- ・子どもの居場所を考え、親として子育ての参考にしていくこと。
- ・家庭内で子どもが安心できる居場所を作っていくこと。
- ・ボランティア活動をしていくこと。
- ・自治会、郷土芸能、コミュニティ活動への参加。
- ・公民館活動、学校行事、子育て支援に積極的に参加する。
- ・廃校になった学校を利用して、交流できる場所をつくる。

